

B@SEラボ vol.1

【テーマ】

「まちに必要な学びの居場所って？」

【日時】

2017年5月21日（日）10:00~12:00

【場所】

JAこま野在家塚支所 在家塚直売所

【参加者】

9名

行政職員4名

地域の人3名

大学院生1名

大学生1名



内容

① B@SE事業部 事業内容のご説明

平成29年4月からスタートしたB@SE事業部の活動について、地域の皆さまに知っていただく目的も兼ねて、事業内容の説明を芦沢郁哉からさせていただきます。

② B@SEラボの実施背景・概要説明

学習支援や子ども食堂などの活動が増え、福祉や教育の専門家ではない人も子どもたちと関わる機会が増えた。だが、「この子とどうやって関わったらいいんだろう…」と不安を抱えている人や、子どもたちとの関わり方についてもっと学びたいという人が学べる場所が少ない。だからこそ、実際に活動している人や、これから活動を始めたい人たちが集まり、様々な考えに触れられる学びの場が必要であるという思いから、B@SEラボを開催していることを参加者の方々に伝えた。

③ 問題提起「まちに必要な学びの居場所って？」

※こどもソーシャルワークセンター代表幸重忠孝さんの取り組みを通して

「NHK 地域魅力化ドキュメント ふるさとグングン！ひとりぼっちのいない町 大阪府高槻市富田地区（2017年4月30日放送）」の映像を参加者みんなで見た。高槻市や滋賀県での取り組みをインプットし、その後のグループワークで対話するときの参考にした。



④ グループワーク 「学びの居場所とは？」

9名の参加者を2つのグループに分け、それぞれのテーブルでファシリテーターが出したお題について話しあった。出てきたアイデアなどは、各テーブルに置いてある模造紙やポストイットに記入し、それぞれの意見を共有していった。

本日のワークでは2つのお題で対話をした。

①「あなたにとっての学びの居場所ってどんな場所がありましたか？」

②「学び」と「居場所」を動詞化してみよう

※それぞれのお題で出た意見などは、後述する。

「学び」と「居場所」を動詞化してみよう!

「学び」 = ○○が・を○○すること・もの

「居場所」 = ○○が・を○○すること・もの



⑤ まとめ

本日のラボのまとめとして、参加者全員が今日の感想や新たに学んだこと・気づいたことについて、1人1分ほどの時間で発表した。

出てきた意見・アイデア

④ グループワーク「学びの居場所とは？」の中で出てきた意見やアイデアを、こちらにまとめた。2グループに分かれて話し合った「居場所」と「学び」について、似ているアイデアをグルーピングし、「居場所」と「学び」それぞれについて必要な要素の洗い出しを行った。

「居場所」の中で出てきた要素として、1.困ったときに助けを求められる一時的な場所であること。2.自分のことが認められ、安心して素の自分で過ごせる場所であること。3.様々な世代の人と出会い、コミュニケーションが生まれる場所であること。4.社会との関わりの入り口になれる場所であること。の4つの要素が出てきた。

なにか困難に当たったときに逃げ込める場所であると同時に、安心できる関係性作りから社会へとつなげていく入り口としての役割も求められていることがわかった。

「学び」の中で出てきた要素としては、1.教授することや様々な機会や人に触れることで学ぶことができること。2.生きる力を学んだり、人生が変わるような新たな発見に出会ったり、自分が何がわからないのかに気づけたりすることが学びだということ。3.「学びたい」という意欲が出てくることで、自ら学びの機会を作り出せること。4.自分も他者も幸せにする方法を身につけることが学びだということ。の4つの要素が出てきた。

誰かに用意してもらった1.の学びの機会によって、2.のことを学んでいくと、3.のように自ら学びの機会を作り出せるようになり、4.のような学びを得ることができるという、学び方にも2段のステップがあることが見えてきた。

B@SEラボ vol.1 ポストイット分析「居場所」

| 「居場所」を動詞化しよう！ | | |
|----------------------------|------------------------------|-------------------|
| 困ったときに一時的に助けを求められる場所 | 出入り自由な一時的に居られる場所 | 人が一時的に居る場所 |
| | | 寄ってお茶する |
| | | 立ち止まるところ |
| | 困ったときに駆け込める場所 | みんなが出入り自由にいられること |
| | | 必要としているものを得られる場所 |
| | | 困ったときに思い出せるもの |
| 自分のことが認められ、安心して素の自分で過ごせる場所 | ちょうどいい距離感で誰かと関わる ことができる場所 | 美味しくご飯を食べられるところ |
| | | 安心できる場 |
| | | ちょうどいい距離の友達のようなもの |
| | 素の自分を認められる場所 | 1人じゃない場所 |
| | | 人が人を認めること |
| | | 安心していられるところ |
| | | 褒められる、認められる |
| | | 肯定される場所 |
| | | 自分を受け入れてくれる |
| | | 失敗を受け入れてくれる |
| | 子どもと大人と一緒に楽しめる場所 | 裸になれる場所 |
| | | 人が心を開くこと |
| | | 生活を楽しむ |
| | 様々な世代の人と出会い、コミュニケーションが生まれる場所 | 子どもと楽しむこと |
| | | 何でもありな話をする |
| 人と人がつながること | | |
| 人の交差点となるところ | | |
| 点と点が線となり、面となれるもの | | |
| 集い、出会い | | |
| 社会との関わりの入り口になれる場所 | 多様な人と出会える | |
| | 世代を超えたコミュニケーション (心の開放) | |
| 社会と少しずつつながりをもてること | | |

B@SEラボ vol.1 ポストイット分析 「学び」

| 「学び」を動詞化してみよう！ | | | |
|------------------------|---|-----------------------------------|--------------|
| 学びの手段・方法その1 | 知識などを知らない人に教授すること | 人が情報を発生すること | |
| | | 無知な人に知識を与える | |
| | | 指導するところ | |
| | 様々な機会によって、経験を得ること | 経験を得ること | |
| | | 様々な機会に出会うもの | |
| | 人と人とのやり取りによって受け取るもの | 出会いから始まるもの | |
| 互いから受け取るもの | | | |
| 知識と知識を共有すること | | | |
| 学びの手段・方法その1で子どもたちが学ぶこと | 生きる力・術を身につけること | 子どもが生活の力を学ぶこと | |
| | | 生きる>学力 | |
| | | 「生きる」方法を見つけること | |
| | | 生きる力をつけること | |
| | | 先人が人として生きる術を教える | |
| | 人生観が変わるような新たな気づき・発見を得ること | 「違い」を知るもの | |
| | | 多様な価値観を知るもの | |
| | | 人が気がつくこと | |
| | | 新しいものが芽生えるもの | |
| | | 人生観を変えること | |
| | 自分が何をわからないのか？ということがわかる | ”わからない”ことを”わからない”とわかること | |
| | | 「わからない」と言えること | |
| | | 何が困っているかわかること | |
| | 自らつくる学びの機会 | 「学びたい！」という意欲が高まり、誰かを真似ることから学びが始まる | 心の底から湧き上がるもの |
| | | | 他人を真似ること |
| 自ら学ぶことで子どもたちが身につけていくこと | 「できる」ことが増えていくことで、自分自身も他者も幸せにすることができるようになる | 「できる」「やれる」を獲得していく | |
| | | 誰かを幸せにするきっかけとなるもの | |
| | | 人が自分のためになることを知っていくこと | |